平成25年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年9月5日

上場会社名　株式会社 ロック・フィールド　　上場取引所　東 大
コード番号　2910　URL　http://www.rockfield.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 岩田　弘三
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部部長　(氏名) 伊澤　修　TEL 078-435-2800

四半期報告書提出予定日　平成24年9月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第1四半期の業績(平成24年5月1日～平成24年7月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第1四半期	11,828	△1.9	314	△44.7	321	△43.5	174	△43.5
24年4月期第1四半期	12,054	6.2	567	8.6	569	8.1	308	31.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年4月期第1四半期	13.12	―
24年4月期第1四半期	23.22	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年4月期第1四半期	27,739	22,291	80.4
24年4月期	29,004	22,560	77.8

(参考) 自己資本　25年4月期第1四半期　22,291百万円　24年4月期　22,560百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年4月期	―	18.00	―	32.00	50.00
25年4月期	―				
25年4月期(予想)		18.00	―	32.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
平成24年4月期の期末配当32円には10円の記念配当を含んでおります。

3. 平成25年4月期の業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,695	2.5	1,047	1.7	1,072	1.4	600	2.4	45.18
通期	50,700	3.1	2,780	8.9	2,815	8.7	1,460	1.5	109.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年4月期1Q	13,394,374 株	24年4月期	13,394,374 株
② 期末自己株式数	25年4月期1Q	113,419 株	24年4月期	113,303 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年4月期1Q	13,280,955 株	24年4月期1Q	13,281,071 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期財務諸表 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 6
第１四半期累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間（平成24年５月１日～７月31日）における日本経済は、エコカー補助金効果や震災復興需要等により生産活動や個人消費に明るい兆しが見え隠れしましたが、ＥＵの債務危機に端を発した世界経済の減速懸念、長期化する円高等の影響もあって、先行き不透明な状況が続いております。

国内の個人消費の動向をみても、経済産業省発表の４－６月期の商業動向によると、唯一コンビニエンスストアが８期連続で売上を伸ばすものの、百貨店、量販店関係の売上は前年割れとなり、主要な外食においても同様の傾向が継続しており、雇用・所得環境が厳しさを増す中、消費者の節約志向も含め、個人消費を取り巻く環境は、かつて経験したことがないほどの大変厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社におきましては既存店における売上確保に苦戦し、当第１四半期累計期間における業績は、売上高は11,828百万円（前年同期比1.9%減）、営業利益は314百万円（前年同期比44.7%減）、経常利益は321百万円（前年同期比43.5%減）、四半期純利益は174百万円（前年同期比43.5%減）となりました。

ブランド別の売上は以下のとおりであります。

業態		平成24年4月期 第１四半期		平成25年4月期 第１四半期		対前期比
		売上	構成比	売上	構成比	
		百万円	%	百万円	%	%
ＲＦ１	サラダ	5,239	43.5	5,095	43.0	97.3
	フライ	1,660	13.7	1,925	16.3	116.0
	その他そうざい	1,900	15.8	1,500	12.7	79.0
	小計	8,800	73.0	8,522	72.0	96.8
神戸コロッケ		975	8.1	881	7.5	90.4
いとはん		797	6.6	861	7.3	107.9
融合		166	1.4	161	1.4	97.2
ベジテリア		513	4.3	522	4.4	101.9
グリーン・グルメ		758	6.3	839	7.1	110.6
その他		41	0.3	38	0.3	92.4
合計		12,054	100.0	11,828	100.0	98.1

主なブランド別の概況は次のとおりであります。

「ＲＦ１」ブランドにおきましては、定番のサラダを中心とした商品展開を強化し、新しい価値観のサラダ等による店頭の品揃えの多様化に取り組みました。歳時記における他店との差別化を図るため母の日においては、「サラダの花束を贈ろう」をテーマに、野菜を花束に見立てた華やかな『サラダブーケＢＯＸ』を販売し好評をいただきました。また、栄養面に配慮した機能系サラダ『糖質ゼロサラダ』や世界の食文化を知るサラダ『フェタチーズと夏野菜のマリネ（ギリシャ）』や『林檎の甘酸っぱさビーツのサラダ（ドイツ）』等、新しい価値観の商品の展開にも取り組みました。フライでは定番商品の見直しを目的に『海老カツレツ』のブラッシュアップを行い、売上の拡大に取り組みましたが、売上高は8,522百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

「神戸コロッケ」ブランドにおきましては、看板商品であるポテト系定番コロッケの品質向上と品揃えを強化いたしました。「コロッケ万歳！」をテーマに日々のそうざいとして手軽にご利用いただくこと等の販促活動にも取り組みました。またフライの人気商品である『海老と貝柱のカツ』は素材感を強調するよう改良し、売上拡大に貢献しましたが、売上高は881百万円（前年同期比9.6%減）となりました。

「いとはん」ブランドにおきましては、旬の素材を使い、野菜の季節感・鮮度感を活かした「和さらだ」が引き続き好調に推移しました。素材の産地や生産者との絆をテーマにした『野辺地葉付きこかぶの酢の物』等、日本の伝統食材や調理法をベースにしながらも新たな価値を持った商品を提案したことがお客様に支持されていると考えております。また、「和さらだ」のパートナーとして和の要素を取り入れた『たっぷり夏野菜の鶏そぼろあん』や『おつまみ豚カツの梅おろし』等の商品展開を行い、「和さらだ」と合わせてお客様の食卓提案を行いました。そ

の結果、売上高は861百万円（前年同期比7.9％増）となりました。

「ベジテリア」ブランドにおきましては、野菜系の定番商品である『緑の健康バランス30品目』や『濃厚30品目』の販売促進を行い、多くのお客様に御賞味いただきました。フルーツ系ジュースにおいては、季節限定で宮崎マンゴーや北海道の夏いちご等こだわりの素材を使用した高付加価値商品を展開しました。また、スープにおいては冷製スープや温冷兼用スープを導入し、売上の底上げを図りました。その結果、売上高は522百万円（前年同期比1.9％増）となりました。

なお、当社はそうざい事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（注）上記金額には消費税等は含まれておりません。

当社は平成24年６月８日に創業40周年を迎え、今後の企業活動の方向性を示すメッセージを「Ｔｈｅ　Ｍｉｒａｉ　Ｓａｌａｄ　Ｃｏｍｐａｎｙ」として社内外に打ち出しました。この「Ｔｈｅ　Ｍｉｒａｉ　Ｓａｌａｄ　Ｃｏｍｐａｎｙ」は、企業理念・価値観を基にさらなる企業発展のため、すべてのそうざいが圧倒的な鮮度感あふれる「Ｓａｌａｄ」であり、「サラダの中に未来がある」という思いのもと、美味しさの源である鮮度ある商品をお客様にお届けすることを目指す当社の姿勢を表したものです。中食、そうざいを取り巻く環境は厳しいものがありますが、企画開発から、購買、生産、物流、販売に至るまで、今一度立ち止まり、それぞれの業務の完成度を見つめ直し、お客様に満足いただける商品の提供と収益性向上の実現に向け、「Ｔｈｅ　Ｍｉｒａｉ　Ｓａｌａｄ　Ｃｏｍｐａｎｙ」を目指して事業に取り組んでまいります。

（２）財政状態に関する定性的情報

当第１四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末と比べて1,264百万円減少し、27,739百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少819百万円、売掛金の減少156百万円、有形固定資産の減少52百万円等によるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比べて995百万円減少し、5,448百万円となりました。これは、主に法人税の支払による未払法人税等の減少708百万円、賞与引当金の減少237百万円等によるものであります。

純資産合計は、前事業年度末と比べて268百万円減少し、22,291百万円となりました。これは、主に四半期純利益174百万円、配当金の支払による利益剰余金の減少424百万円等によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は80.4％、１株当たり純資産額は1,678円46銭となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年６月11日に公表いたしました業績予想と変更はございません。

ただし、事業環境の変化等による今後の業績推移に応じて、予想数値と重要な乖離が見込まれる場合には速やかに開示を行う方針であります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年５月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第１四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ2百万円増加しております。

３．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年４月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,606	7,786
売掛金	3,991	3,835
製品	58	61
仕掛品	64	65
原材料及び貯蔵品	256	233
その他	517	406
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	13,495	12,387
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,369	7,353
土地	2,948	2,948
その他（純額）	2,451	2,414
有形固定資産合計	12,769	12,716
無形固定資産	462	486
投資その他の資産		
その他	2,287	2,159
貸倒引当金	△10	△10
投資その他の資産合計	2,277	2,149
固定資産合計	15,509	15,352
資産合計	29,004	27,739
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,140	1,182
1年内返済予定の長期借入金	243	239
未払法人税等	741	32
賞与引当金	500	263
その他	2,867	2,875
流動負債合計	5,493	4,594
固定負債		
長期借入金	222	165
その他	727	688
固定負債合計	950	853
負債合計	6,444	5,448

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成24年４月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年７月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,544	5,544
資本剰余金	5,861	5,861
利益剰余金	11,343	11,092
自己株式	△209	△209
株主資本合計	22,539	22,289
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	20	2
評価・換算差額等合計	20	2
純資産合計	22,560	22,291
負債純資産合計	29,004	27,739

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成23年５月１日 至　平成23年７月31日）	当第１四半期累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年７月31日）
売上高	12,054	11,828
売上原価	5,066	4,986
売上総利益	6,988	6,842
販売費及び一般管理費	6,420	6,527
営業利益	567	314
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	3
その他	4	5
営業外収益合計	9	9
営業外費用		
支払利息	2	1
障害者雇用納付金	4	－
その他	0	0
営業外費用合計	7	1
経常利益	569	321
特別損失		
固定資産除却損	11	－
減損損失	－	5
特別損失合計	11	5
税引前四半期純利益	558	316
法人税等	250	142
四半期純利益	308	174

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。